

会社で決定した事後評価対応方針

評価対象区間	評価結果及び対応方針
<p>山陰自動車道 (宍道 JCT～出雲)</p>	<p>【評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 直接便益（時間短縮・経費減少・事故減少）を対象とした費用便益比は2.4である。 ◇ 高速道路整備により時間短縮、事故率低下など大きな効果が確認された。 ◇ 対象区間の開通により、沿線地域へのアクセス性が向上し、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の緊急輸送路として、地域の安全安心に貢献 ・ 医療機関への搬送時間が短縮し、地域の救急医療を支援 ・ 企業立地促進、地域特産品の物流効率化、観光客数増加により地域産業が発展など、様々な効果が発現している。 <p>【対応方針】</p> <p>当該区間の開通により、時間短縮や医療・災害面における地域の安全安心への貢献等十分な効果が確認されたところである。今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域との連携・協力を図りながら、当該区間の更なる利用促進に努める。 ◇ 国土交通省において事業中の一般国道9号（出雲・湖陵道路）との接続により、更なるネットワーク効果が発揮されるものと期待される所であり、当該事業の円滑な進捗が図られるよう協力していく。
<p>西九州自動車道（佐世保道路） だいとう (佐世保大塔～佐世保中央)</p>	<p>【評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 直接便益（時間短縮・経費減少・事故減少）を対象とした費用便益比は2.2である。 ◇ 高速道路整備による時間短縮、事故減少など大きな効果が確認された。 ◇ 対象区間の開通により、沿線地域へのアクセス性が向上し、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関への搬送時間が短縮し、地域の救急医療を支援 ・ 企業立地促進や地域特産品の物流効率化 ・ 通勤圏の拡大や観光客増加による地域の活性化 <p>など、様々な効果が発現している。</p> <p>【対応方針】</p> <p>当該区間の開通により、時間短縮や物流の効率化など十分な効果が確認されたところである。今後は、西九州自動車道の整備に伴い、更なるネットワーク効果が発揮されるものと期待される所であり、交通状況を踏まえながら必要な渋滞対策について検討していく。</p>